

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



沼市
新田
野

北原
羽生田
台宿
下黒

上相葉
古屋敷
鹿島
新田

中荒井
柳原
西高野

都賀町
川端
永内
大塚原

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

赤松
下原
三谷
北原

北赤塚町
松原
下黒

上相葉
下相葉
吉次内
下馬木

新田
西高野
今井

柳原
西高野
今井

宿
国府
西国府

宿平六
田本
田村

栃木市
大房地
古国府

久保田
大本
杉木
小宅

宮田
小

ボーリング柱状図

調査名 壬生高校特別教室棟新築工事地質調査 孔番 No. №.1 地盤高 -0.408 m

調査場所 栃木県壬生町藤井1194 (基準面 KBM±0.0)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和57年12月 日 ~ 月 日 P-7

地下(孔内)水位 GL-7.40m 調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深 度(m)	層 厚(m)	土質記号	土質	土性		備考	(註)		打撃 回数 10m毎	原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験							
					色調	相対密度		番号	記号			打撃回数							
												0	10	20	30	40	50	60	70
	1.25	1.25	X	表土	黒灰		腐植物、植物の根混る	1		1/13.7/15	1.15 1.45	●							
	2.50	1.25	/	ローム	茶褐		少量の有機物混る。下部軽石粒混入	1		2.1.0/14	2.15 2.49	●							
	3.90	1.40		鹿沼土	黄褐		粒径2mm位水分含む			3.15/11	3.15 3.48	●							
	5.90	2.00	/	ローム	暗茶褐		有機物混る			1.1.2	5.15 5.45	●							
	6.80	0.90	○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 主体max100mm	3		20.30/11	4.15 6.36	○							
	7.30	0.50	○	粗砂中砂	暗灰		小礫介在			10.14.20	7.15 7.45	●							
	12.70	5.40	○	砂礫	茶灰		礫φ10~20mm 多い。礫階段状に混入上位特に砂分多い。	4		8.8.8	8.15 9.45	●							
	13.10	0.70	○	粗砂中砂	暗灰		10m附近薄層に砂質粘土挟在	5		7.11.13	9.15 9.45	●							
	13.70	0.30	○	砂礫	茶灰		11m~礫φ10~30mm 主体 最大礫φ80mm 内外。	6		8.2.4	10.15 10.45	●							
	15.30	1.60	○	細砂	茶灰		上部粘土質固結状15m附近より粗砂	7		9.2.12	11.15 11.45	●							
	20.43		○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 程度多い。最大礫φ80mm 内外。16m附近薄く砂挟む。	8		18.20.12	12.15 12.42	○							
			○	砂礫	茶灰		粒径不均質	7		4.7.10	13.15 13.45	●							
			○	砂礫	茶灰		上部粘土質固結状15m附近より粗砂	7		7.12.21	14.15 14.45	●							
			○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 程度多い。最大礫φ80mm 内外。16m附近薄く砂挟む。	9		8.17.19	15.15 15.45	●							
			○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 程度多い。最大礫φ80mm 内外。16m附近薄く砂挟む。	8		8.11.12	16.15 16.45	●							
			○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 程度多い。最大礫φ80mm 内外。16m附近薄く砂挟む。	9		19.22.9/5	18.15 18.38	○							
			○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 程度多い。最大礫φ80mm 内外。16m附近薄く砂挟む。	10		12.19.19/6	19.15 19.41	○							
			○	砂礫	茶灰		礫φ10~30mm 程度多い。最大礫φ80mm 内外。16m附近薄く砂挟む。	10		19.20.17/8	20.15 20.43	○							

